

## 第8回懇談会の主な意見等

## 【平面図について】

1. 学級数が少ないままであるということは理解できる。しかし、学級数が少なくなっただけからといって、3階部分の一部を屋上緑化にするのはもったいないのではないか。
2. 現在の想定は、2～3年生は40人学級であるが、今後35人学級が成立していった場合、推計の学級数が変化するのではないか。
3. 既存の教育活動のほかに、生徒の居場所など、プラスアルファ分がこれから増えてくる可能性があるのではないか。
4. 3階にもう1つ多目的室を造っておくと各学年とも動きが取りやすくなるのではないか。
5. 学校が新しくなると生徒が増えると思うので、教室を造っておいたほうが良いと思う。
6. 普通教室をこれまでの学校と同様、学年ごとにフロアを分けてほしい。
7. 3階の北側普通教室の学年は、昇降口や職員室からの動線が良くないのではないか。
8. 西側の普通教室の日当たりなどの環境は良いのか。また、校庭を見られた方が良いのではないか。
9. 学校の運営上、管理上からすると、1フロア1学年が対応しやすいという感覚はあるが、新しい形の授業をどう考えるかということにもなると思う。
10. 3階の普通教室は、前の廊下を広く取っているのでいろいろな活動が誘発されて、コミュニケーションの場になり、居場所にもなると思う。
11. 「さくら広場」の付近のセキュリティはどのようになっているのか。
12. 体育館が半地下になっている。災害時に高齢者などが来るため、階段のステップを低くするとか、階段の幅を広くするなど、使いやすい震災救援所にするにはどうすれば良いか、案を出してほしい。